

理工学研究科河合慶有講師が日本材料学会論文奨励賞を受賞

【受賞内容】

平成30年5月26日（金）に高知県で開催された材料学会第67期通常総会において、理工学研究科の河合慶有講師が論文奨励賞を受賞しました。

この賞は、本学会誌「材料」に掲載された論文の中から、材料における学術・技術の進歩、発展に寄与し、独創性と将来性に富むと認められた若手研究者に与えられるものです。受賞論文「初期養生がフライアッシュコンクリート中の腐食因子の侵入と鉄筋腐食抵抗性に与える影響」は、酸素透過とカソード反応性状の観点から腐食因子の移動に影響を与える要因について考察を加え、初期養生によってはカソード反応の抑制効果の低下を招く可能性を指摘しています。本研究成果は、今後特に重視されるFAコンクリートの耐久性設計の精度や信頼性の向上に大きく貢献するものであり、その他のコンクリート材料へも広く応用される可能性を秘めた知見を得ており、論文奨励賞を受賞するに値するものと認められ、今回の受賞になりました。

【賞状・副賞の楯】

